

YOSHIKOのファッション通信

ファッションアドバイザー&地域おこし協力隊

骨格タイプ診断で変わる印象 ～骨格ナチュラルさんの場合～

入学式などの
オケージン
バージョン

BEFORE



撮影協力: Marumitsu (マルミツ)

AFTER



骨格タイプ診断ってなに？

骨・体格・質感を見せてもらい3タイプに分けて診断するシステムです。

▼ ストレート

上重心で腰位置が高くVネックやタイトスカートなどシンプルな洋服が似合う。

● ウェーブ

下重心でくびれがあるためウエストシェープのワンピースやゆるふわな洋服が似合う。

■ ナチュラル

フレーム感があり、いかり肩。長方形のストンとしたタイプなので丈が長めの重ね着が似合う。

骨格ナチュラルさんは重ね着と丈長めが得意。スーツの場合もオーバーサイズでパンツ丈も長めのほうがお洒落感が増します。さらに似合うショルダーバックとアクセサリ重付け、足元には足袋ブーツを合わせてみました。卒業式、入学式シーズン、行事にも似合うスタイリングでルンルンになれそうですね。

子育てママ必見!!

安浦町でできる手形アート!

安浦町でお子様の成長記録を可愛くお洒落に残せる。そんな素敵な場所をご存知でしょうか？
そう！手形アートです!! ママが安心して子どもに寄り添える場所を…。と安浦町三津口で「Pass River」を運営されている渡川由佳さんと一緒に手形をとり、お絵かきやシールをペタペタ☆とっても楽しく！そして可愛くお洒落に、お子様の個性豊かなアートが作れます😊

お誕生日や記念日、おじいちゃんおばあちゃんのプレゼントとしても喜ばれているそうです！
大切なお子様と一緒に過ごせる「今」この瞬間だけの宝物を残してみたいはいかがでしょうか？
また、手形アートだけではなく、ベビーマッサージも開かれています☆



安浦幼稚園で一時保育が始まりました!

対象年齢 1歳～小学校就学前まで
定員数 1日最大3名

詳しくは安浦幼稚園のHPにてご確認ください♪



TANTO

No.54

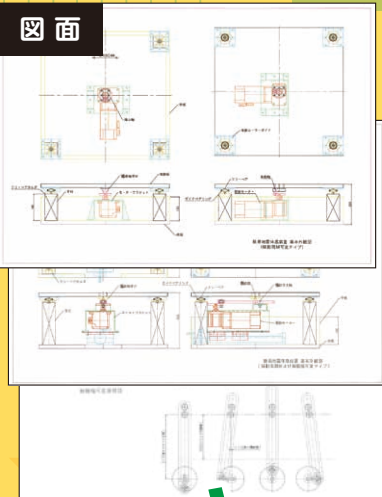
発行
令和5年3月10日

安浦町まちづくり協議会 〒737-2516 呉市安浦町中央4丁目3-2(呉市役所安浦市民センター内) 電話:0823-84-2261(年4回発行)

簡易型地震体感装置「ゆれるんジャー」

防災リーダーネットワークは、昨年11月の新ええとこ祭りに、簡易型地震体感装置「ゆれるんジャー」を出展しました。メディアなどが報じている「南海トラフ大地震」の記事がきっかけでした。まず資金問題など課題は山積でしたが、呉市地域パートナーシップ支援事業に認可され、解決できました。構造については、昭和地区自主防災会の完成品を参考にさせて頂きました。メンバーの中にメカニズムに詳しい人がおり、製作方法や製図を作成したり、必要な材料の購入も出来ました。8月中旬から概ね毎週土曜日、三津口分館に集まり作業開始となりました。途中、構造の見直しなどもあり、試行錯誤の事態もあったようです。期限内に完成出来たのは、協力者による努力の賜物だと思います。尚、新ええとこ祭り当日の来場者から愛称募集をし、「ゆれるんジャー」と決定しました。今年1月14日には、呉市市民協働センターにおいて「kure 防災かいぎ 2023」が開催され「ゆれるんジャー」は防災リーダー7名とともに参加しました。

今後は要望があれば、小学校や地域の防災訓練などにも出向き、活動したいと考えています。



ご希望の方は、代表奥村までお問合せ下さい。 TEL 090-4009-0124

やすうら 記憶遺産

第27話

老人を探す話

朧夜の搜索隊(図版:上) 白昼搜索(図版:下)

連載「やすうら記憶遺産」とは？

安浦町の風物を描き残した画家・山本譲（1904-1994）の400枚にのぼる絵を通して、明治から昭和に至る安浦町の歴史や記憶を掘り起こし、絵の中の人々の暮らしを後世に伝えていく取り組みです。まちづくり広報誌「TANTO」紙上で2016（平成28）年No.28／9月号から連載を始め、今回で27回のお話となります。

大正時代のお話のようです。安浦の浦尻である日、近所の老人が行方不明になったとのこと。大事にならないようそれとなく人々が搜索するが、見つからない。夜になり、身体の丈夫な若者や大人たちが提灯を持ち、空き缶を打ち鳴らし老人を探します。浦尻の山道や大將軍山まで足を伸ばし探しました。が、見つからない。翌日、今度は村の人々が火葬場の隣のため池を手始めに、点在するため池を棹でかき回してみました。二町ほど離れた厚谷の池では、若者が池に飛び込み池底を探ってみました。老人の行方は、その後どうなったかは分かりませんが、100年近く前の安浦で起きたちょっとした事件簿のひとつ。その光景を山本譲は絵にしました。

村落共同体の中に生まれては消えて行く、日常の情景や人々の心の動きも歴史の一部です。ですが、日本史の教科書には残りません。教科書には載らない、民衆の“心性”を捉え、絵として残したところに山本譲の絵の価値があります。



やすうら再発見 散策のすすめ

◆ 亀山八幡神社の社叢 …広島県緑地環境保全地域

文化財をたずねて

※社叢・神社境内を囲うように密生している林

亀山八幡神社(以下神社)は安浦駅の西方約1kmに位置しています。その地域一帯は、中世から続く照葉樹林が残る自然環境豊かな社叢を形づくっています。

この社叢は、平成元(1989)年3月31日に広島県緑地環境保全地域に指定され、111種類の植物が認められ、樹齢約500年以上で幹まわりが約3メートル以上のイチイガシ、椎の木、コバンモチの群集などが見られ、瀬戸内海沿岸では、たいへん貴重な森林です。特に雨の後は、木々の間に流れおちる水音が聞こえ、小鳥のさえずりなどが相まって神秘的な雰囲気を感じることができます。

この神社は、中世の土豪常広城主内海氏が勧請し、天正15(1587)年に神社名をはじめ亀山八幡宮として社殿を建立したと考えられ、神社本殿は呉市有形文化財に指定されています。

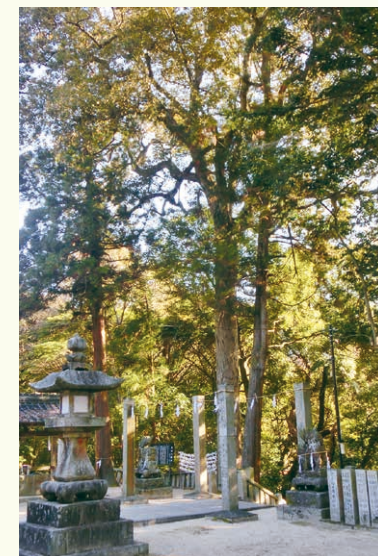
鳥居近くには、中畑川と野呂川との合流付近にあった常夜灯が移築されています。ぜひ、行ってみて下さい。



神社の社叢



神社本殿



イチイガシなどの大木

瀬戸内 空中ブランコ 誕生！！



この春、グリーンピアせとうちの水ヶ浦山展望台に、青く輝く「瀬戸内空中ブランコ」が誕生しました。登山口の入口階段～展望台まで、片道約20分です。長い階段を登り終えれば多島美が視界いっぱいにひろがります。いつものウォーキングを、百万坪の一軒宿グリーンピアせとうちで行ってみるのも、気持ちがよさそうですね。

※風予測が4m以上の日は、安全のためブランコを撤去している場合があります。

グリーンピアせとうち

〒737-2502 広島県呉市安浦町三津口 326-48

Tel: 0823-84-0262

フードバンクくれ

……フードロス感謝に変える！！



「この生きづらい世の中で様々な苦しみを抱えておられる方々の悩みの一端を私たちにも担わせていただきたい」安登地区にお住いの平賀さんは77歳。ガンを患い、またパートナーも同じ病気で亡くされ、残された人生何か役に立つことをしたいと2年前からフードバンク活動を始めました。

日本の食品は年間522万トンが、まだ食べられるのに廃棄されています。その食品を必要とされる方たちにつなぐ目的で活動しています。はじめは具体的に何をすればいいのか試行錯誤で、市役所や社会福祉協議

会など尋ね、支援先や食品を提供してくれるフードバンクやスーパーマーケットなどを調べました。

現在では、呉市内を中心に食品を提供していただき、軽四トラックも購入して、市内のこども食堂や養護施設、学生支援団体などに食品を届けています。皆さんのお宅で余っている食品などがありましたら、お知らせ下さい。川尻町のファミリーマートで受け付けています。

平賀さんはフードバンク以外にもペットボトルのキャップ回収など行っています。人、モノが循環して潤う社会に！素晴らしい取り組みですね♥

連絡先 フードバンクくれ 平賀佳彦：080-6310-1977



▲川尻町のファミマフードドライブ受付中